

【公表：委員名なし】

令和8年度 第1回周南市高齢者保健福祉推進会議 議事録

日時： 令和8年7月22日（水） 午後7時から
場所： 本庁 多目的室（南北）

【 会 議 次 第 】

1. 福祉部長あいさつ
2. 新任委員の紹介
3. 議題
 1. 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果について（資料１）
 2. 次期計画の策定について（資料２、３）
4. その他

令和 8 年度 第 1 回 周南市高齢者保健福祉推進会議 議事録

日 時 令和 8 年 7 月 22 日（水） 午後 7 : 00～午後 8 : 20
 場 所 周南市役所 本庁 多目的室 南北
 出席者 推進会議委員 11 名（4 名の委員が欠席）
 福祉部長ほか、事務局 14 名（地域福祉課・高齢者支援課・指導監査課・健康づくり推進課）、 委託者（1 名）

会 議 議 事 録

開会	令和 8 年度 第 1 回周南市高齢者保健福祉推進会議 ・福祉部長あいさつ ・新任委員紹介・挨拶
議題 1	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果について（資料 1） >委託者から説明 （20 分）
A 委員	【質疑応答】 日常生活圏域の内訳（地区名）は、どうなっているか。 質問の趣旨>民児協では区域を 24 地区に分け、75 歳以上単身者及び 75 歳以上の夫婦のみの方に対し高齢者の実態調査を行っている。 一方で、市のこのニーズ調査は 65 歳以上が対象者となっているので対象者の範囲が広い。今後、市のこの調査結果を、さらに細分化していただくと、民児協の実態調査との比較ができるとのことでの質問。
事務局	回答>日常生活圏域を構成する地区名を、すべて回答。
B 委員	P25 設問（15）で、携帯電話とスマホは、きちんと分けて尋ねている。 一方で、P26 の設問（16）では、携帯電話とスマホの両方を対象として、通話やライン、電子決済などの使用状況を一緒に尋ねているのは、なぜか

委託者	回答＞携帯電話（ガラケー）は、通話が中心のデバイス、世の中、デジタルということで、その中で、スマホをつかった情報発信について、高齢者の方がどれくらい使っているのか、浸透しているのかを探る意味で設定している。 イメージとしては、高齢者にはスマホは使うのが難しいのではないかとイメージがあったが、実際には所持している人が増えてきている。 御指摘いただいた設問 16 は、設問 15 の回答結果を組み合わせ、スマホ利用している人だけについて、深掘りしていくことは可能。
B 委員	ガラケーが携帯電話という意味に驚いている。別の言い方の方がよかったのではないかと思う。
会長	引きこもり、身体不自由の方のクロス分析は可能なのか、また、他者とのコミュニケーションをとる時に、ソーシャルメディア使うという選択もあるので、この指摘は意味がある。むしろ、その選択は生きるので、今後、その回答ができるようお願いしたい。
委託者	回答＞本日、追加配布した資料の P8 で、外出傾向が少ない、内向的な高齢者の携帯電話やスマートフォンの利用状況のクロス集計が載っているが、そうでない人に比べ、どちらも利用していないとする人の割合が高く、外出傾向が少ない高齢者は、こうした機器を使った交流やコミュニケーションが少ない傾向が出ている。
C 委員	アンケートの対象者はどのように抽出されたのか。私が周囲から聞いているのは、携帯やスマホは扱いが難しいという話ばかりなので、今回、このような立派な回答になっているので驚いている。
事務局	回答＞日常生活圏域ニーズ調査は、65 歳以上が対象であり、対象者の抽出自体は、無作為に行っている。
会長	今の年齢的（前期高齢者・後期高齢者）なところ、委託者からご回答を。

委託者	回答＞P6 で、前期高齢者は、回答者の約半数以上を占めている。 R5 の調査結果と比較しても、大きな変化は見られない。
会長	P6 の結果から、回答の半分は前期高齢者なので、年齢的な原因はないということが理解できる。
D 委員	アンケートの発送先の母集団の年齢構成は、今回のこの調査結果と、どのように違うのか。
事務局	回答＞次回の会議で回答させていただく。
A 委員	北部は高齢化率が高い地域。須金は 68%。過疎地域で住民が少なく、高齢者が多い。高齢者の実態調査は 10 月頃には結果が出るので、データ活用できるかもしれない。富田地区は、高齢化率 28%、住民は約 1500 人、一方、須金は 68%、住民が約 200 人で、非常にバランスが極端だと思う。
会長	地域のインフラ、交流施設があれば、外出するのか、何か、関連性があるか。
委託者	回答＞そこは、もう少し掘り下げが必要だが、交流施設がある＝交流が活発になる、とは限らないと想定されるので、場があるだけでなく、そこにつながるような地域との「つながり」であったりとか、そういうことも影響があるのでまだ仮説の段階だが、そのあたりは、集計結果の掘り下げを行っていきたい。

	議題 2 次期計画の策定について
事務局	事務局から、資料 2 及び 3 に基づき説明 現行の介護保険料（参考） > 周南市介護保険料基準額 4,960 円、宇部市 6,200 円
会長	【質疑応答】 今、事務局から説明のあった 4 つの基本指針（案）は、とても重要と思われる。2040 年の高齢者の割合、中山間のサービス量、気になるが、テクノロジーの観点についてだが、既に見守りセンサーは取り込まれている。 メディアで公表されているフィジカル AI など、高度な取り組みについて検討するとか、何か、福祉 DX は考えられるのか。 介護人材の不足に代わるものがあるのかどうかについて、委員の皆さまにお聞きしたい。
C 委員	結局は、介護予防だと思う。予防に力をいれることが大事。機械を使うようないい話もでていますが、結局は、介護予防が大事。 また、宇部市と周南市の保険料のこれだけの違い（差額）は、どこからくるのか、そこが不思議でならない。
事務局	回答 > 宇部市との差額については一概に言えないが、高齢者の人数や介護サービスの量のほか、介護認定率や介護予防の取組であったりとか、これらが介護保険料基準額の設定に、影響を与えていると思われる。 <u>以降、質疑なし。</u> 閉会 午後 8 時 20 分

